取扱説明書

DuraVision®
MDF4601WT

タッチパネル装着カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- **モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してください。**
- **取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。**
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

セットアップマニュアルに記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定する電源コードおよび信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、「Backlight」の設定を下げて使用することをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

液晶パネル面に洗剤や熱湯をかけたり、火を近づけたりすると、表面のコーティングが剥がれて跡が残る場合がありますのでご注意ください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面を固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

（タッチパネル使用時の注意事項）
次の点に注意してください。故障や誤動作の原因となります。

- タッチパネルの上に物を置かないでください。
- タッチパネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
- ボールペンや金属類などの硬い物でタッチパネルをタッチしないでください。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、付属のクリーニングクロスを使用して、やさしくふき取ってください。

注意点

- 液晶パネル面に水などの液体が付着した場合は、タッチ操作に影響する可能性がありますので、すぐにふき取ってください。
- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 6

1-1.　特長 6

1-2.　EIZO LCDユーティリティディスクについて 7

- ディスクの内容と概要 7

1-3.　各部の名称と機能 7

- 前面 / 背面 7
- 側面 8

第 2 章　画面を調整する 10

2-1.　明るさを調整する 10

2-2.　入力信号を切り替える 10

2-3.　詳細な調整 / 設定をおこなう 11

- 調整メニューの基本操作方法 11
- 調整項目一覧 12

第 3 章　こんなときは 16

3-1.　画面が表示されない場合 16

3-2.　画面に関する症状（デジタル・アナログ共通） 17

3-3.　画面に関する症状（アナログのみ） 18

3-4.　タッチパネルに関する症状 18

3-5.　その他の症状 20

第 4 章　メンテナンス 21

4-1.　DC電源ヒューズの交換方法 21

4-2.　冷却ファンの交換方法 22

4-3.　ブザー警告音の定期確認 24

第 5 章　ご参考に 25

5-1.　ファームウェアバージョンを確認する 25

5-2.　仕様 25

- 主な初期設定値 26

5-3.　対応解像度 / 対応信号フォーマット 27

- PC入力（DVI-1、DVI-2/RGB-2、VGA）の場合 27
- ビデオ入力（CVBS）の場合 27

付録 28

商標 28

舶用規格 28

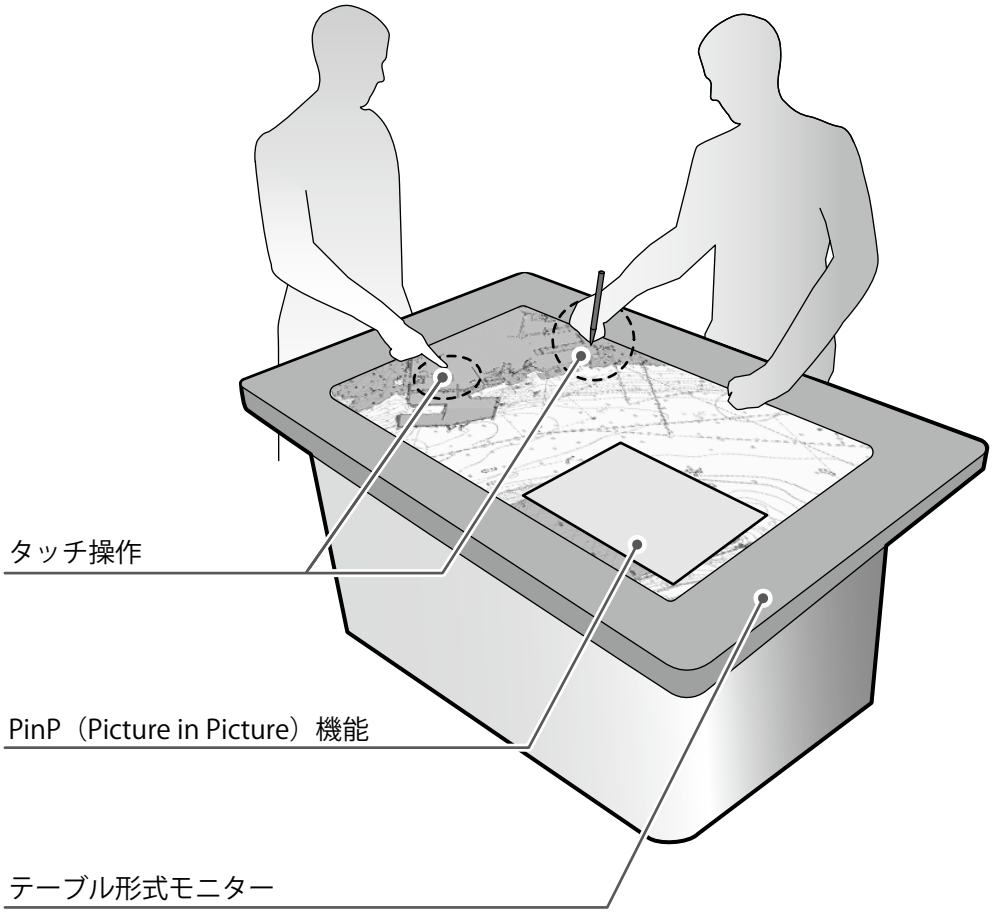
船級型式承認 28

第 1 章　はじめに

このたびは当社タッチパネル装着カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 46型画面により、紙海図を広げたような感覚で電子海図を見ることができます。
- テーブル形式で使用できます。
- タッチパネルを装備。画面をタッチして操作できます。
  - 手のひらなど、指より広い面積で触れた際の誤入力を防ぐ「パームリジェクション機能」を搭載。
  - 水や異物を検知している間、タッチ操作を無効にする「ウォーターディテクション機能」を搭載。
- PinP（Picture in Picture）機能を搭載。複数の画像を同時に表示することができます。



注意点

- テーブル形式で使用する場合は、次のような使い方はしないでください。
  - コーヒーカップなどの熱い液体が入った容器を置く。
  - たばこや灰皿を置く。

1-2. EIZO LCDユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCDユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

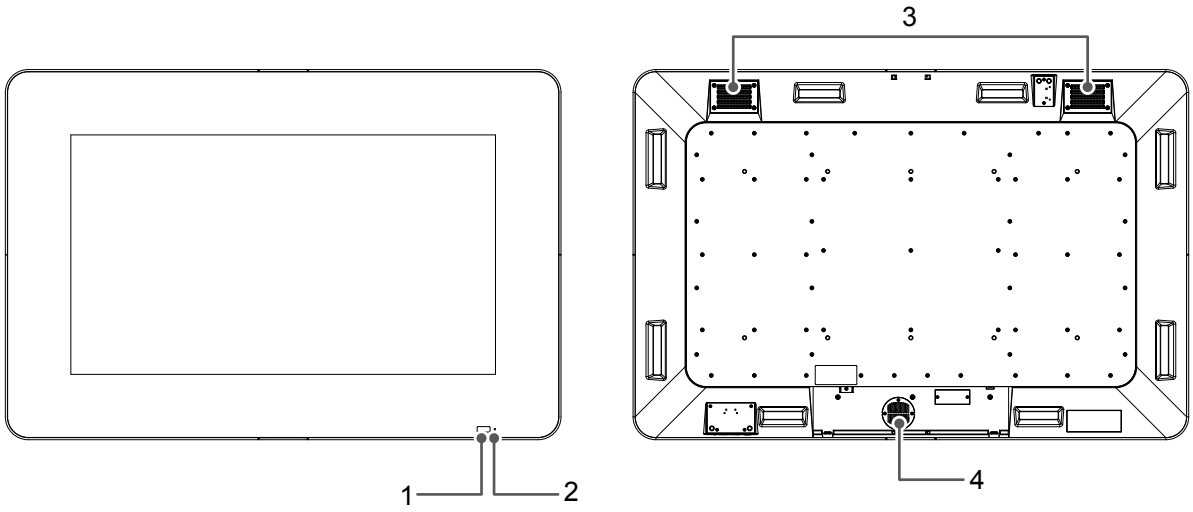
ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内のReadmeja.txtを参照してください。

内容	概要
タッチパネルドライバ	当社提供のタッチパネルドライバ（DMT-DD）です。※1
TPOffset	タッチパネルの感度を調整するソフトウェアです。※1 タッチ操作が効かなかったり、強く押さないと反応しないような場合にご利用ください。
モニターの取扱説明書（PDFファイル）	
製品寸法図（PDFファイル）	
Readmeja.txtファイル	

※1 Windows専用です。インストール方法や使用方法については、ディスク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

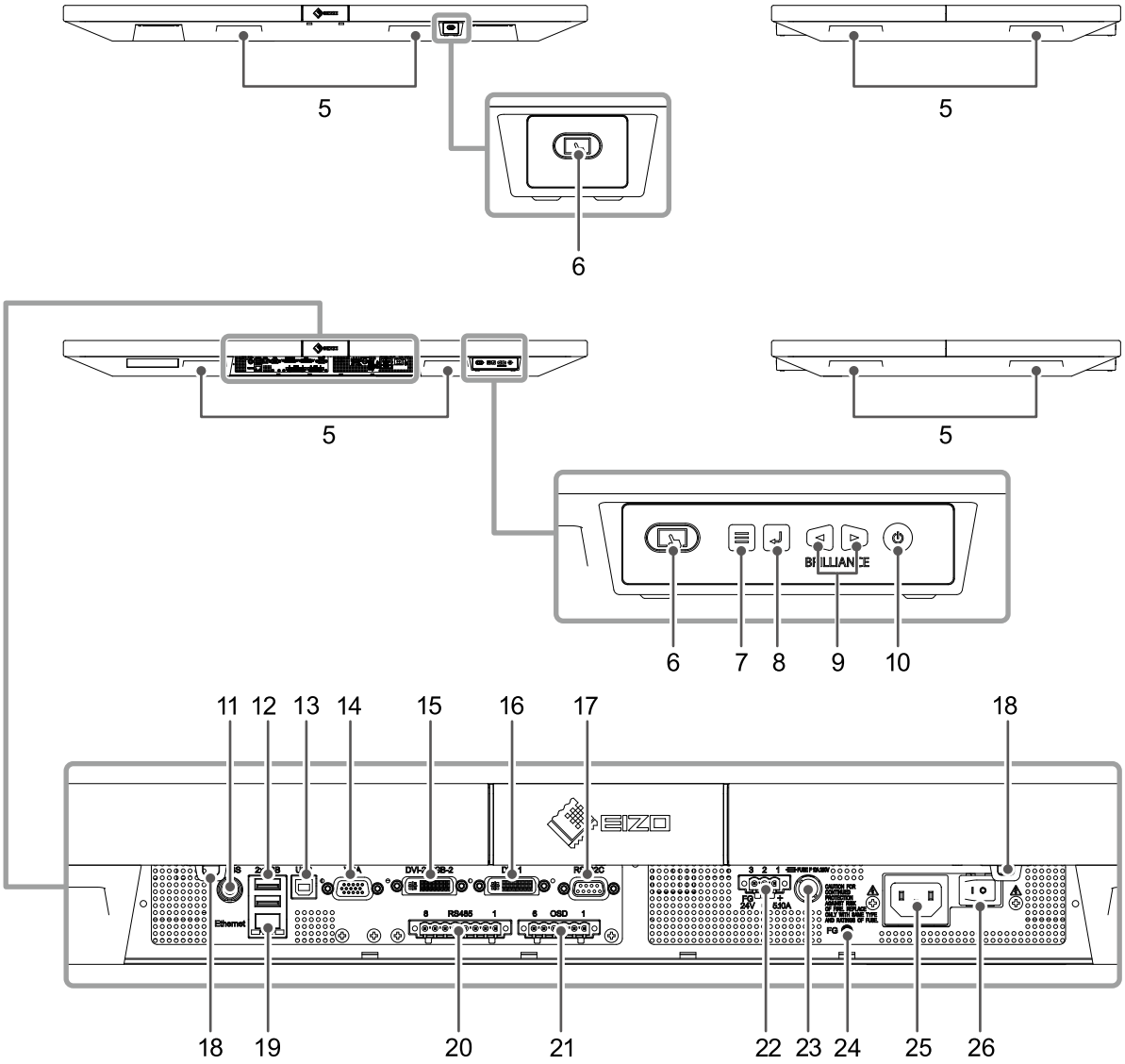
1-3. 各部の名称と機能

● 前面 / 背面

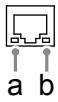


1. ECDIS インジケータ	モニターの輝度がECDISの調整値に設定されている場合は、「ECDIS」という文字が緑色に点灯します。 **参考** • この製品は、モニターを垂直にした状態で、ECDIS用の出荷調整をおこなっています。 • ECDISインジケータは、DVI-1またはDVI-2の入力時のみ動作します。
2. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 緑：画面表示 消灯：電源オフ
3. 冷却ファン	冷却用のファンが取り付けられています。
4. ブザー	警報ブザーが取り付けられています。

● 側面



5. 持ち手	運搬用の持ち手です。
6. ボタン	タッチパネル操作の有効 / 無効を切り替えます。 タッチパネル操作を有効にすると、ボタンが青色に点灯します。 **参考** • ボタンは2箇所にあります。モニターの設置位置に応じて、操作しやすい方をご使用ください。 • タッチパネル操作が有効な状態でボタンを2秒以上押すと、タッチパネルのキャリブレーション（感度調整）が実行されます。
7. ボタン	調整メニューを表示したり、調整 / 設定をキャンセルします。
8. ボタン	入力中の信号名を表示します。または、調整メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します。
9. ◁▷ ボタン	画面の明るさを調整します。または、調整メニューの選択や、機能の調整 / 設定をします。
10. ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。 電源を切るときは、を5秒以上押します。画面にプログレスバーが表示された後、電源が切れます。
11. CVBSコネクタ（BNC）	ビデオ信号を入力します。
12. USBダウンストリームポート	USB2.0に対応している周辺機器と接続できます。

<table>
<tr><td>13. USBアップストリームポート</td><td colspan="4">次のいずれかをおこなう場合にUSBケーブルを接続します。
• タッチパネルを使用する。
• USB経由でモニターを制御する。
• USBハブ機能を使用する。</td></tr>
<tr><td>14. VGA（D-Sub）コネクタ</td><td colspan="4">コンピュータのアナログ信号を入力します。</td></tr>
<tr><td>15. DVI-2 / RGB-2（DVI-I）コネクタ</td><td colspan="4">コンピュータのDVI信号（デジタル、アナログ）を入力します。</td></tr>
<tr><td>16. DVI-1（DVI-D）コネクタ</td><td colspan="4">コンピュータのDVI信号（デジタル）を入力します。</td></tr>
<tr><td>17. RS232Cポート</td><td colspan="4">D-Sub9ピン（メス）コネクタ：
RS-232C通信でモニターを制御する場合に接続します。</td></tr>
<tr><td>18. 結束バンドホルダー</td><td colspan="4">ケーブルを固定するための結束バンドを取り付けます。</td></tr>
<tr><td>19. Ethernetポート</td><td colspan="4">Ethernet経由でモニターを制御する場合にネットワークケーブルを接続します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3"> 
</td><td rowspan="2">a）Link LED</td><td>緑</td><td>ネットワーク接続が確立</td></tr>
<tr><td>消灯</td><td>ネットワーク接続が未確立</td></tr>
<tr><td>b）Status LED</td><td>橙点滅</td><td>データ通信中</td></tr>
<tr><td>20. RS485ポート</td><td colspan="4">RS-485通信でモニターを制御する場合に接続します。</td></tr>
<tr><td>21. OSDポート</td><td colspan="4">操作ボタンを外部から制御する場合に接続します。</td></tr>
<tr><td>22. DC電源コネクタ</td><td colspan="4">DC電源端子台を取り付けます。</td></tr>
<tr><td>23. DC電源ヒューズ</td><td colspan="4">DC電源ヒューズが取り付けられています。</td></tr>
<tr><td>24. 機能接地端子</td><td colspan="4">ねじ穴は、M4（呼び径4 mm）、深さ 6 mmです。</td></tr>
<tr><td>25. AC電源コネクタ</td><td colspan="4">電源コードを接続します。
AC電源コネクタには、出荷時、絶縁カバーが付いています。</td></tr>
<tr><td>26. AC主電源スイッチ</td><td colspan="4">AC主電源のオン / オフを切り替えます。
｜：オン、○：オフ</td></tr>
</table>

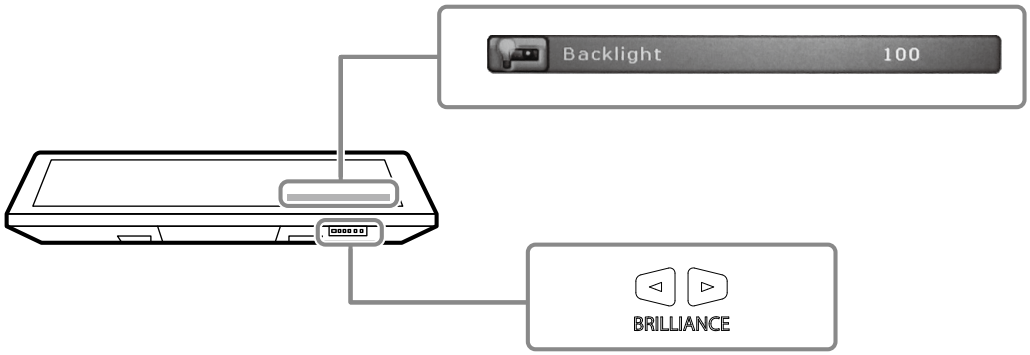
第 2 章　画面を調整する

2-1. 明るさを調整する

設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。

設定範囲

0 ～ 100

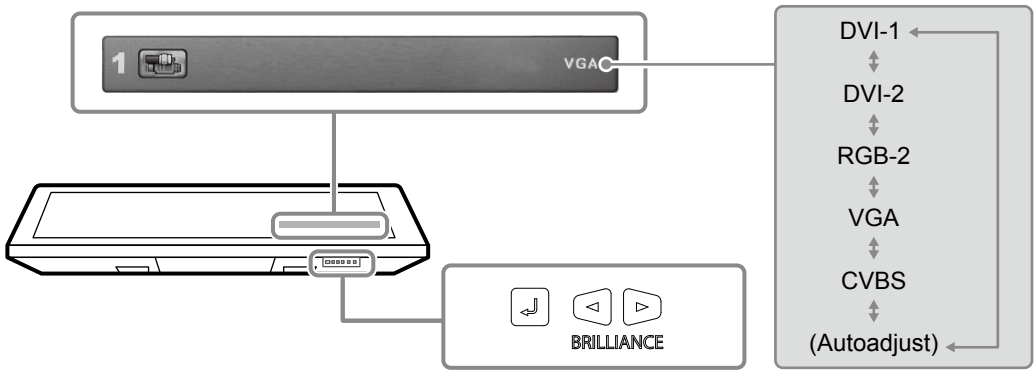


2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。

設定方法

1. ↵を押します。
   現在表示している信号のコネクタ名が画面右下に表示されます。
2. ◁▷を押して、信号を切り替えます。
3. ↵を押して確定します。



2-3. 詳細な調整 / 設定をおこなう

調整メニューを使用すると、詳細な調整 / 設定をおこなうことができます。

● 調整メニューの基本操作方法

参考

・初期設定では、表示言語は英語に設定されています。表示言語を変更する場合は、調整メニューの「Language」（P.14）の設定を変更してください。

1. 調整メニューの表示

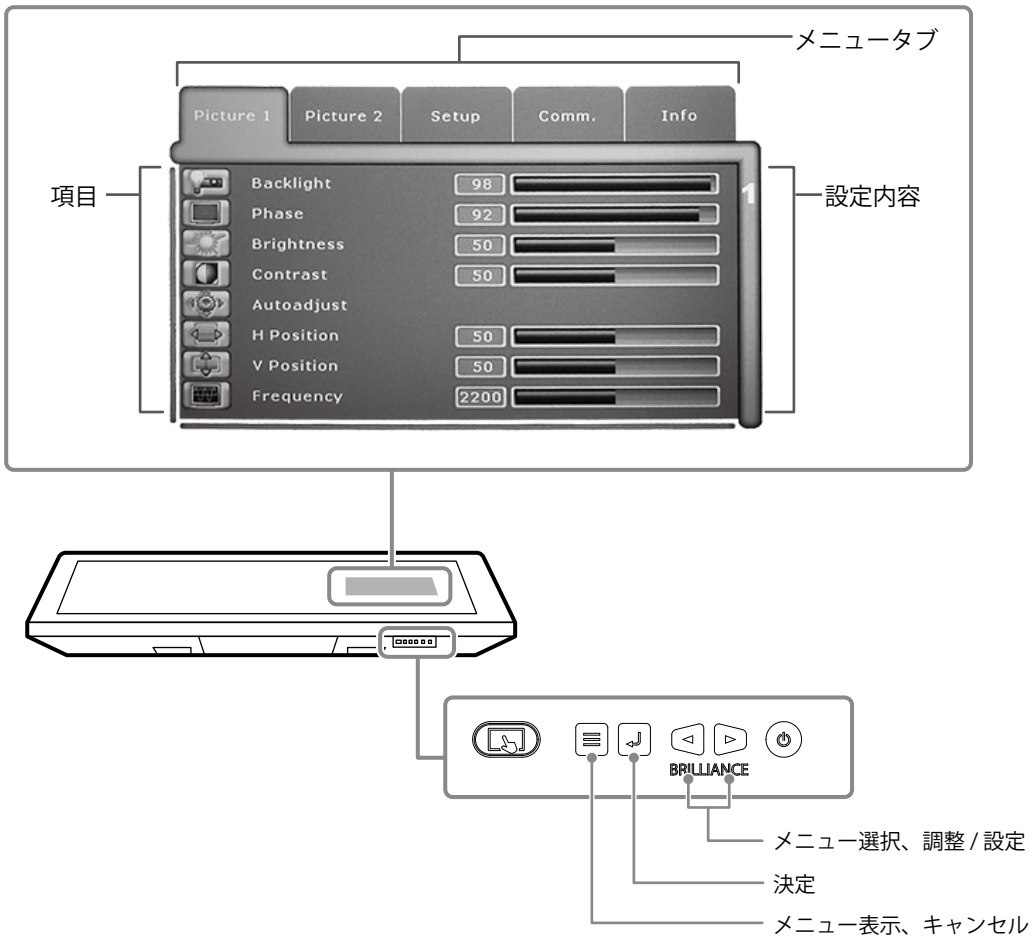
1. ☰を押し、調整メニューを表示します。

2. 調整 / 設定

1. ◁▷で、調整 / 設定したいメニュータブを選択し、↵を押します。
2. ◁▷で、調整 / 設定したい項目を選択し、↵を押します。
3. ◁▷で、値を調整 / 設定し、↵を押して確定します。

3. 終了

1. ☰を数回押すと、メニューを終了します。



● 調整項目一覧

調整メニューを使って調整 / 設定できる項目の一覧です。入力信号によって、 表示される項目は異なります。

「Picture1」タブ

項目	設定範囲	説明
Focus※1	Main Window (1) PiP Window (2)	PinP表示の場合に、親画面と子画面どちらを調整するかを選択します。
Backlight	0〜100	バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。
f(T):BL real	-	バックライトの輝度を表示します。 **参考** • この項目は、モニター内部の温度上昇によりバックライトの輝度が自動的に下がったときに表示されます。
Phase※2	0〜63	画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。
Brightness	0〜100	黒レベルを調整します。 **参考** • Brightnessが50のとき、すべての色階調が表示できます。 **注意点** • Brightnessを50から変更すると、ECDIS規格に適合した表示ができなくなります。
Contrast	0〜100	画面の明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。 **参考** • Contrastが50のとき、すべての色階調が表示できます。 **注意点** • Contrastを50から変更すると、ECDIS規格に適合した表示ができなくなります。
Autoadjust※2	-	アナログ信号（VGAまたはRGB-2）を入力している場合に、画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。 **参考** • 自動調整は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。 - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合 - 壁紙など背景を黒で使用している場合 また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。 • モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合は、自動的に調整されます。
H Position※3	0〜100	画面の水平方向の表示位置を調整できます。
V Position※3	0〜100	画面の垂直方向の表示位置を調整できます。
Frequency	-	画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。
Hue※4	0〜100	色合いを調整します。
Saturation※4	0〜100	色の濃さを調整します。

※1 PinP表示の場合に有効
※2 VGA入力またはRGB-2入力の場合に有効
※3 VGA入力、RGB-2入力、またはCVBS入力の場合に有効
※4 CVBS入力の場合に有効

「Picture2」タブ

項目		設定範囲	説明
Focus※1		Main Window (1) PiP Window (2)	PinP表示の場合に、親画面と子画面どちらを調整するかを選択します。
Color Mode		Custom Day Dusk Night	表示モードを切り替えます。 ECDIS規格に適合した3つのモード（Day、Dusk、Night）と、お好みに応じた設定ができるモード（Custom）があります。 **参考** • 「Day」、「Dusk」、「Night」は「Color Mode Setting」（P.14）が「On」の場合に有効です。
Scaling		One to One Fill to Aspect Ratio Fill Screen	画面サイズを切り替えます。 **参考** • 推奨解像度（1920 × 1080）で表示している場合は設定できません。画面サイズは「One to One」に固定されます。
Picture in Picture (PiP)	PiP	Off On	PinP表示のオン / オフを切り替えます。
	Source Main Window	DVI-1 DVI-2 RGB-2 VGA CVBS	親画面と子画面それぞれの入力信号を選択します。 **参考** • PinP表示をおこなう場合は、親画面か子画面のどちらかにDVI-1信号を入力する必要があります。
	Source PiP Window	DVI-1 DVI-2 RGB-2 VGA CVBS	
	Source Swap (Main <-> PiP)	-	親画面と子画面の入力信号を入れ替えます。
	Framelock Reference	Source Main Window Source PiP Window	フレームロック機能を親画面と子画面のどちらに適用するかを選択します。 **参考** • 動画を表示している方の画面に適用してください。 • 画面に信号が入力されていないときは適用しないでください。
	Autoadjust	-	親画面か子画面にアナログ信号（VGAまたはRGB-2）を入力している場合に、画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。 **参考** • この機能はPinP表示中かつ、「Focus」でアナログ側の画面を選択している場合に実行できます。
	PiP Adjustments	0～100	子画面に対して次の調整をおこないます。 • 画面サイズ • 画面の表示位置（水平、垂直） • 画面の透過性
Color Temperature		R：0～100 G：0～100 B：0～100	色温度を設定します。 **参考** • この項目は、「Color Mode Setting」（P.14）が「Off」の場合に設定できます。

※1 PinP表示の場合に有効

「Setup」タブ

項目		設定範囲	説明
Color Mode Setting		Off On	バックライトを最大輝度で動作させるかどうかを設定します。 「Off」に設定すると、バックライトは最大輝度で動作します。「On」に設定すると、バックライトはECDIS用の輝度に調整されます。輝度は最大にはなりません。
DPMS		Off On	省電力設定のオン / オフを切り替えます。「On」に設定すると、信号の入力がなくなったときにバックライトが消灯します。
OSD	Transparency	0～100	調整メニューの背景色の透明度を調整します。
	OSD Timeout [sec]	15～60	調整メニューのタイムアウト時間を設定します。
	OSD Lock	Off On	調整メニューを表示する際に、パスワードの入力を求めるように設定できます。 **参考** • パスワードの解除方法 1. ☰を押して、パスワードの入力画面を表示します。 2. 「OSD Access Code」（P.14）で設定したパスワードを入力して、☰を押します。調整メニューが表示されます。 3. 「OSD Lock」を「Off」に設定します。
	Key Lock	Off On	設定した状態を変更できないように、操作ボタンをロックすることができます（⏻ ボタンは除く）。 **参考** • ロックの解除方法 1. ⏻ を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。 2. ◁ を5秒以上押しながら、⏻ を押してモニターの電源を入れます。画面の右上に「Keys Unlocked」と表示されるまで◁を押し続けてください。
	OSD Access Code	（数字4文字）	「OSD Lock」で使用するパスワードを設定します。 **参考** • パスワードの初期設定値は「1234」です。
Source	Source Scan	Off On	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。
	Scan DVI-1	Off On	各コネクタに対して「Source Scan」を実行するかどうかを設定します。いずれかの項目を「On」にする場合、あらかじめ「Source Scan」を「On」にしておく必要があります。
	Scan DVI-2	Off On	
	Scan RGB-2	Off On	
	Scan VGA	Off On	
	Scan CVBS	Off On	
Language		英語 ドイツ語 スペイン語 フランス語	メニューの表示言語を選択します。
Testpattern		-	テストパターンを表示します。
Factory / User Settings		-	設定を初期設定に戻します。

「Comm.」タブ

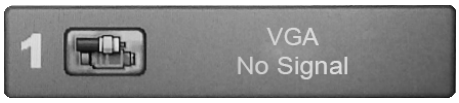
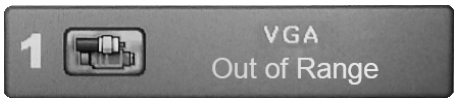
項目		設定範囲	説明
RS232 Interface		Standard SCOM	RS-232の通信方式を選択します。
RS485 Interface	Mode	MODBUS	RS-485の通信方式です。
	Slave Address	1～247	スレーブアドレスを設定します。
	Baudrate	19200 Baud 9600 Baud	伝送速度を設定します。
	Parity	Even Odd Off	パリティチェックの方式を設定します。
	Bus Topology	Two-Wire Four-Wire	半二重通信か全二重通信かを選択します。
	Bus Termination	Off On	通信経路に終端装置を設置している場合は「Off」に設定してください。
SNMP	IP Address	0.0.0.0 ～255.255.255.255	ネットワークの設定をおこないます。
	Subnet Mask		
	Standard Gateway		
	Primary DNS Server		
	GET Community String	（アルファベット8文字）	GETリクエスト、SETリクエストで使用するコミュニティ名を設定します。
	SET Community String		
Restart SNMP / RS485 Communication		-	通信を再起動して設定を反映します。「RS485 Interface」、「SNMP」の設定をおこなったときは必ず実行してください。 **参考** • モニターの主電源を入れ直した際にも、設定が反映されます。

「Info」タブ

モニターの情報（製造番号、ファームウェアバージョン、使用時間、解像度、入力信号など）を確認できます。

第 3 章　こんなときは

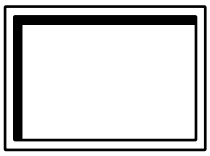
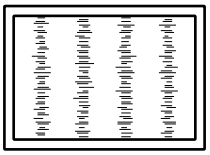
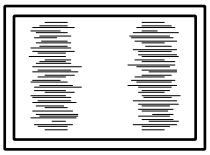
3-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない • すべての操作ボタンが点灯しない	• 電源コードは正しく接続されていますか。
	• 主電源を入れてください。
	• 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
	• 低温環境下でモニターを使用している場合は、電源を入れた状態でしばらく待ってから、一度電源を切り、再度電源を入れてください。
• ⏻ ボタンのみ点灯：緑色	• ⏻ を押してください。
• すべての操作ボタンが点灯：緑色 または ⏻ ボタンが点滅：緑色	• 画面の明るさを調整してみてください。
	• マウス、キーボードを操作してみてください。
	• コンピュータの電源は入っていますか。
	• 入力信号を切り替えてみてください。（「2-2. 入力信号を切り替える」（P.10）参照）。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
• 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	• コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。
	• コンピュータの電源は入っていますか。
	• 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
	• 入力信号を切り替えてみてください。（「2-2. 入力信号を切り替える」（P.10）参照）。
• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： 	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「5-3. 対応解像度 / 対応信号フォーマット」（P.27）参照）。
	• コンピュータを再起動してみてください。
	• グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

3-2. 画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 調整メニューの「Backlight」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にご相談ください。）
2. 画面が突然暗くなった / 調整メニューの「Backlight」の値を上げても画面が明るくならない	• この製品は常に本体内部の温度を監視しています。 内部が高温になり、一定の温度を超えると、内部温度を下げるため、輝度を制限することがあります。この場合、制限以上の輝度に設定することができません。この状態は、内部の温度が下がると元に戻ります。 本体内部の温度がさらに高くなった場合には、自動的にモニターの電源が切れます。
3. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「5-3. 対応解像度 / 対応信号フォーマット」（P.27）参照）。
4. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。
	• 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
5. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
6. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
7. 画面を拭いても曇りが取れない / ガラスの内側に結露が生じた	• 画面を拭いても曇りが取れない場合は、液晶パネルを保護しているガラスの内側に結露が生じていることがあります。この場合は、モニターの電源を入れて画面を表示してください。しばらくすると結露は消えます。また、ドライヤーなどでガラスを温めることで結露が消えるまでの時間が短くなる場合があります。なお、このようにガラスの内側に結露が発生しても、製品の故障や劣化には影響はありません。

3-3. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	• 調整メニューの「H Position」、「V Position」で画像の位置を合わせてください（「H Position」（P.12）「V Position」（P.12）参照）。
	• グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
2. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている  	• 調整メニューの「Frequency」で調整してみてください（「Frequency」（P.12）参照）。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	• 調整メニューの「Phase」で調整してみてください（「Phase」（P.12）参照）。

3-4. タッチパネルに関する症状

症状	原因と対処方法
1. タッチ操作が効かない	• タッチパネル操作が無効になっている可能性があります。(touch) ボタンを押して有効に切り替えてください。(touch) ボタンが青色に点灯します。
	• モニターとコンピュータがUSBケーブルで接続されていることを確認してください。
	• モニターの電源を入れなおしてみてください。
	• タッチパネル面に水や物がある場合は取り除いてください（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。この製品は、タッチパネル面に水や、その他誤動作を引き起こす可能性がある物を検出すると、自動的にタッチパネル操作を無効化します。
	• モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
	• (touch) を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「Don't touch the panel. Calibrating...」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。
	• TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。
	• モニターに複数のコンピュータを接続している場合、そのうちの1台のみタッチ操作が可能です。タッチ操作をするコンピュータとモニターが、USBケーブルで接続されていることを確認してください。

症状	原因と対処方法
2. タッチ位置とカーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ	• セットアップマニュアルに記載のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
	• モニターの電源を入れなおしてみてください。
	• (⊡) を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「Don't touch the panel. Calibrating...」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。
	• モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
	• TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。
	• モニターの位置や角度を変更すると、カーソルが飛ぶ場合があります。
	• 金属をタッチパネル面に近づけた状態で使用するとカーソル位置がずれる場合があります。
	• タッチパネルが汚れていると、誤動作する場合があります。タッチパネル面のクリーニングをおこなってください（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。
	• タッチパネル面のクリーニングに帯電防止剤入りのクリーナを使用するとタッチパネルの感度に影響し、カーソル位置がずれる原因になることがあります。
	• コンピュータやモニターの起動時、およびケーブルの接続後、5秒間はタッチしないでください。カーソル位置がずれたり、タッチ操作が効かなくなる場合があります。その場合は、およそ2分間タッチパネルに触れずにおくか、モニターの電源を入れなおしてください。それでも改善しないときは、再度キャリブレーションを実行してください。
3. カーソルがタッチ位置に表示されず、モニターの中央を中心に点対称の位置に表示される	• 再度キャリブレーションを実行してください。
4. カーソルが揺れる / 描画線が安定しない	• モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
	• (⊡) を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「Don't touch the panel. Calibrating...」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。
	• TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。
	• 金属の影響がある場合、カーソルが安定しない場合があります。
	• 複数台のモニターを近接して設置している場合は、モニター間の間隔をあけて設置してください。

症状	原因と対処方法
5. キャリブレーションが正しく動作しない	• を2秒以上押して、タッチパネルの感度調整を実行してみてください。「Don't touch the panel. Calibrating...」というメッセージが画面から消えるまで、タッチパネルには触れないでください。
	• TPOffsetでタッチパネルの感度調整を実行してみてください。
	• いったん調整状態をリセット（Windowsコントロールパネルの「タブレットPC設定」/「Tablet PC設定」の「画面」タブで「リセット」をクリック）して、再度キャリブレーションを実行してください。
6. タッチ音が鳴らない	• コンピュータの音声出力端子からタッチ音を鳴らす設定をしている場合は、スピーカーを接続してください。
	• DMT-DDをインストールして必要な設定をおこなってください。詳細は、DMT-DDの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。
	• Windows標準ドライバを使用している場合は、タッチ音を鳴らすことはできません。

注意点

• TPOffset（タッチパネルの感度調整用ソフトウェア）については、TPOffsetの取扱説明書（CD-ROM内）を参照してください。

3-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 画面に次のようなメッセージが表示される 	• 本体の冷却ファンが正常に動作していないときに表示されます。本体背面の冷却ファンの状態を確認してください。
	• ファンを交換する場合は、「4-2. 冷却ファンの交換方法」（P.22）を参照してください。
2. 調整メニューが表示できない	• 調整メニューまたは操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「OSD Lock」（P.14）、「Key Lock」（P.14）参照）。
3. ファンの動作音が気になる	• この製品は、本体内部の温度上昇を抑えるための冷却ファンを内蔵しています。設置位置によっては動作音が聞こえる場合があります。

第 4 章　メンテナンス

4-1. DC電源ヒューズの交換方法

注意点

- ヒューズを交換する場合は、必ず手順どおりにおこなってください。誤った取り扱いに対しては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ヒューズは必ず次のものをご使用ください。
  - メーカー：Littelfuse
  - 型番：0217010.MXP
  - 定格：250 V / 10 A
  - 形状：管型ヒューズ
  - サイズ：5 mm x 20 mm
  - 種類：速断タイプ

1. AC電源コードとDC電源端子台を取り外します。

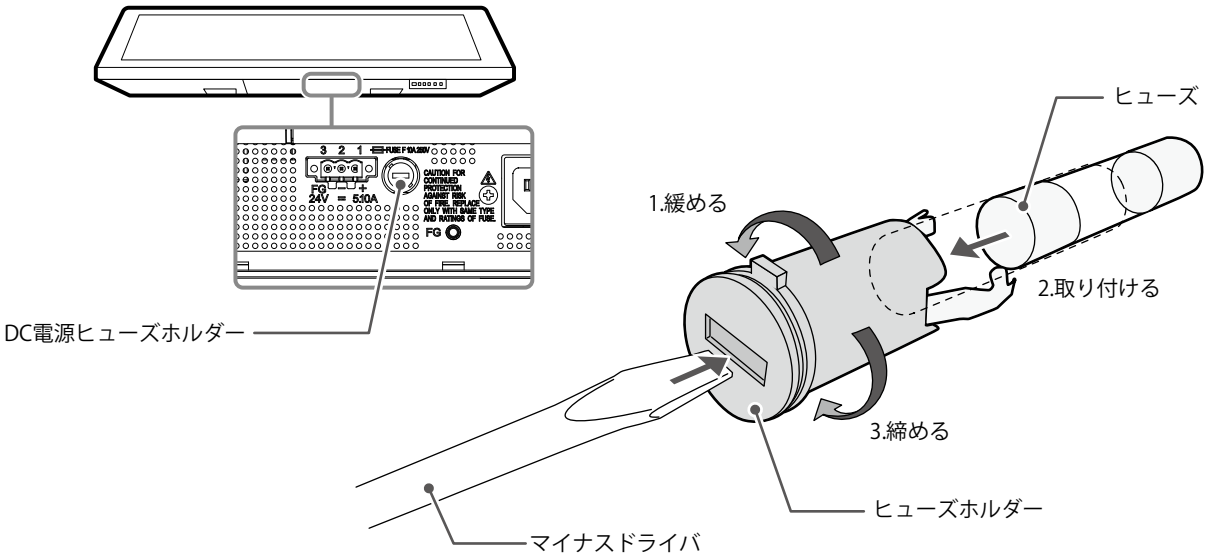
2. ヒューズホルダーを取り外します。

ヒューズホルダーの先端を、マイナスドライバで押しながら左に回します。

3. 新しいヒューズをヒューズホルダーに取り付けます。

4. ヒューズホルダーを取り付けます。

モニターにヒューズホルダーを差し込み、マイナスドライバで先端を押しながら右に回します。



参考

- 交換後、AC電源コードを取り外した状態でDC電源端子台を接続し、モニターが動作することを確認してください。

4-2. 冷却ファンの交換方法

注意点

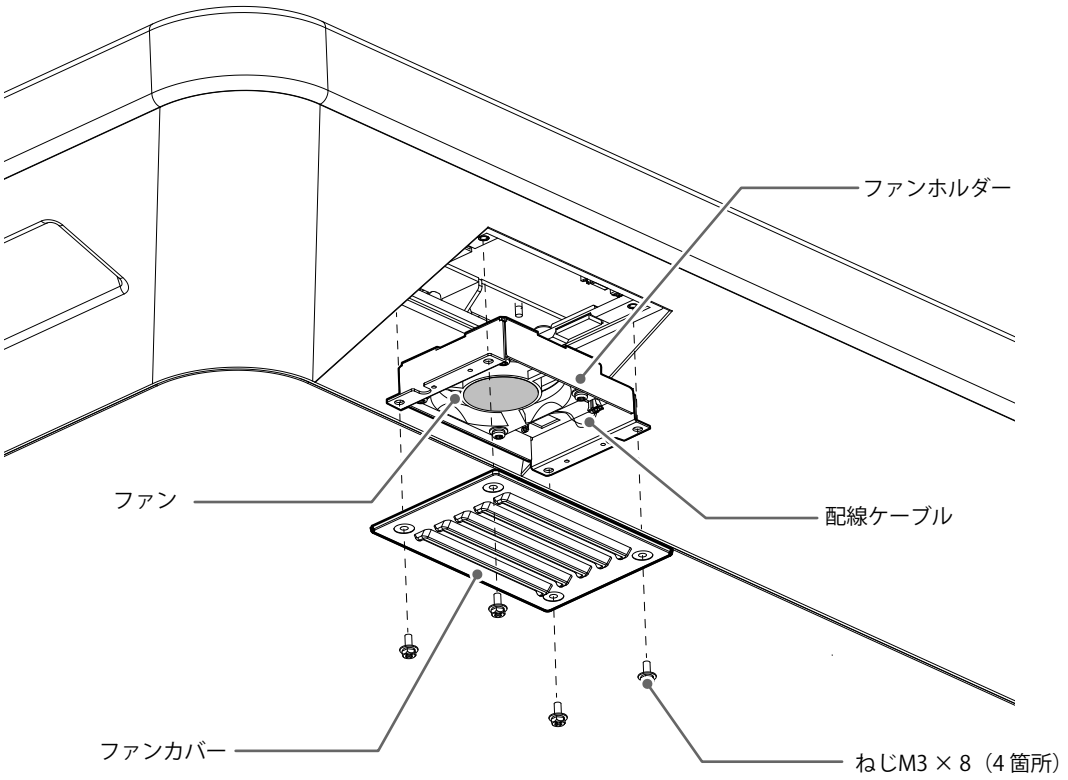
- ファンを交換する場合は、必ず手順どおりにおこなってください。誤った取り扱いに対しては、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

参考

- 交換部品については、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

1. AC電源コードとDC電源端子台を取り外します。

2. ファンカバーとファンホルダーを取り外します。

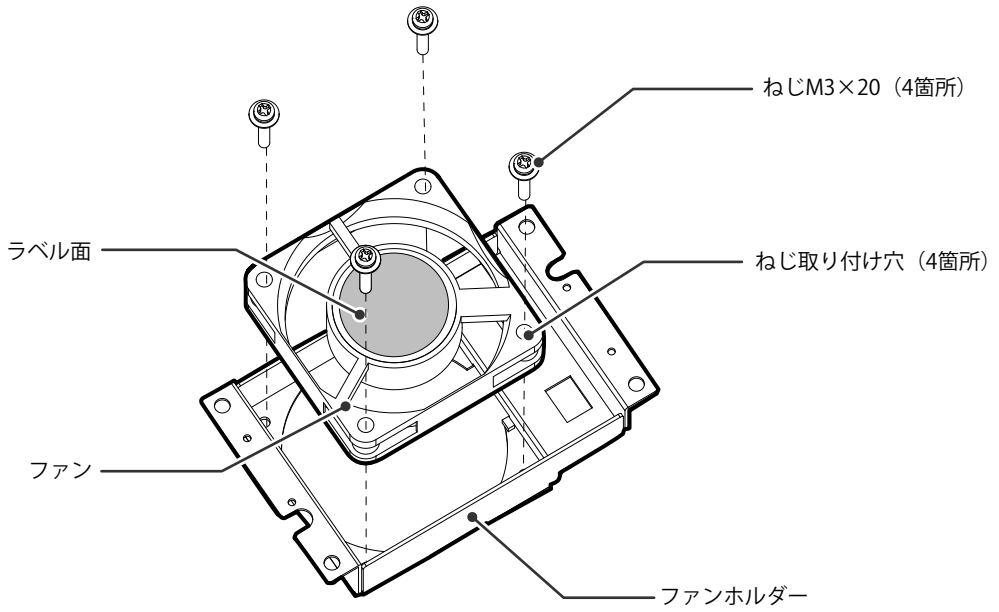


1. カバーを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。
   取り外しには、呼び径3 mmのめがねレンチ（オフセットあり）をお使いください。
2. カバーを取り外します。
3. モニターに接続している配線ケーブルを取り外します。
4. ホルダーを取り外します。
   ホルダーは、面ファスナーでモニターに仮止めされています。

注意点

- 配線ケーブルはコネクタ部分を持って取り外してください。配線ケーブル部分を引っ張ると、コネクタが破損する可能性があります。

3. ファンホルダーからファンを取り外します。



1. ファンを固定しているねじ（4箇所）を取り外します。
   取り外しには、プラスドライバをお使いください。
2. ファンを取り外します。

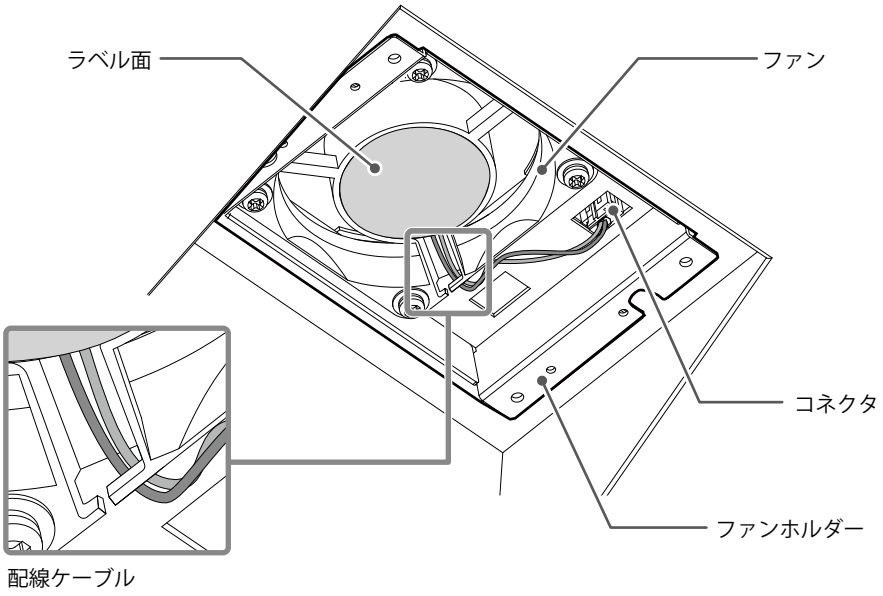
4. 新しいファンをファンホルダーに取り付けます。

注意点

- ファンの取り扱いに注意してください。ファンを落として衝撃を与えるたりすると故障の原因となります。
- ファンの向きに注意して取り付けてください。

1. 手順3（P.23）で取り外したねじを使って、ファンをホルダーに固定します（推奨トルク：0.78 ±0.2 N･m）。ファンのラベル面が外側になるように取り付けてください。

5. ファンホルダーとファンカバーを取り付けます。



1. ホルダーをモニターに取り付けます。
2. 配線ケーブルをモニターに接続します。コネクタを確実に接続してください。
3. 配線ケーブルをファンの溝に引っ掛けます。
4. 手順2（P.22）で取り外したねじを使って、カバーをモニターに固定します。

参考

- 交換後に、次の方法で動作確認をしてください。
  1. ファンが回転することを確認します。
  2. 画面に「Fan Error」のメッセージが出ていないことを確認します。

4-3. ブザー警告音の定期確認

- このモニターに搭載しているブザーは、モニター制御通信を使用してブザー警告音を鳴らすことができます。
- ブザー警告音が鳴ることを定期的に確認することをお勧めします。確認には、モニター制御通信を使用してください。

参考

- モニター制御通信の詳細は、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

第 5 章　ご参考に

5-1. ファームウェアバージョンを確認する

この製品のファームウェアバージョンを確認します。

確認方法

1. 調整メニューの「Info」タブを選択し、⏎ボタンを押します。
2. ◁▷ ボタンを押して、5ページ目を開きます。
3. ファームウェアバージョンと製造番号が表示されます。

5-2. 仕様

液晶パネル	種類	VA
	バックライト	LED
	サイズ	116.8 cm（46.0）型
	解像度	1920ドット × 1080ライン
	表示面積（横×縦）	1018.1 mm × 572.7 mm
	画素ピッチ	0.530 mm × 0.530 mm
	表示色	約1677万色
	視野角（水平 / 垂直、標準値）	178˚ / 178˚
	最大輝度	620 cd/m^2（typ.）
	コントラスト比（標準値）	4000：1
	応答速度（標準値）	中間階調域：6.5 ms
タッチパネル	方式	投影型静電容量方式
	通信方式	USB転送
	表面処理	アンチグレア、防指紋
	表面硬度	5H
	対応OS	Windows 10（32ビット版 / 64ビット版） Windows 8.1（32ビット版 / 64ビット版） Windows 7 Service Pack 1（32ビット版 / 64ビット版） （Mac には対応していません。）
	同時タッチ点数	10点
映像信号	端子	DVI-D（HDCP非対応）× 1 DVI-I（デジタルはHDCP非対応）× 1 D-Sub15ピン（ミニ）× 1 CVBS × 1
	デジタル走査周波数（水平 / 垂直）	31 kHz～68 kHz / 59 Hz～61 Hz（720 × 400時： 69 Hz～71 Hz）
	アナログ走査周波数（水平 / 垂直）	31 kHz～81 kHz / 55 Hz～76 Hz
	ドットクロック（最大）	デジタル：　148.5 MHz
		アナログ：　148.5 MHz
	同期信号	セパレート、TTL、正/負極性 コンポジット、TTL、正/負極性
通信	端子	RS-232C：　D-Sub9ピン（メス）
		RS-485：　端子台（8ピン）
		Ethernet：　RJ-45
		OSD（メンテナンス用）：　端子台（6ピン）
USB	ポート	アップストリーム × 1 ダウンストリーム × 2
	規格	USB Specification Rev.2.0

電源	電源入力	AC	定格 100 V - 240 V（動作範囲：AC85 V - 264 V）、50 / 60 Hz、1.25 A - 0.60 A	
		DC	定格 +24 V（動作範囲：+30% / -10%）、5.10 A（DC24 V）	
	最大消費電力	AC	125 W以下	
		DC	121 W以下	
	省電力時消費電力	AC	16.5 W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「Source Scan」：「Off」時）
		DC	12.0 W以下	
	待機時消費電力	AC	5.0 W以下	（DVI入力時、USB機器非接続時、「Source Scan」：「Off」時）
		DC	2.5 W以下	
機構	外観寸法		1336 mm × 890 mm × 91 mm（幅 × 高さ × 奥行）	
	質量		約47.2 kg	
動作環境条件	温度		-15 ˚C ～ 55 ˚C	
	湿度		10 %～90 %（R.H.、結露なきこと）	
輸送 / 保存環境条件	温度		-20 ˚C ～ 60 ˚C	
	湿度		10 %～92 %（R.H.、結露なきこと）	
視距離（推奨）			1824 mm以上（※IEC 62288に基づく）	
保護構造			前面：IP65	
			背面：IP22	

● 主な初期設定値

Backlight	Custom： 100
	Day： 64
	Dusk： 57
	Night： 11
Phase	0
Brightness	50
Contrast	50
H Position	50
V Position	50
Hue	50
Saturation	50
Color Mode	Custom
Scaling	Fill Screen
Color Mode Setting	Off **注意点** • ECDIS規格に適合したモードを使用する場合は、必ず「On」に設定してください（「Color Mode Setting」（P.14）参照）。 • DVI-1コネクタまたはDVI-2コネクタに信号を入力したときに、ECDIS規格に適合した表示ができます。
DPMS	Off
OSD Timeout [sec]	15
OSD Lock	Off
Key Lock	Off
Source Scan	Off
Language	English

5-3. 対応解像度 / 対応信号フォーマット

この製品は次の解像度、信号フォーマットに対応しています。

● PC入力（DVI-1、DVI-2/RGB-2、VGA）の場合

解像度	垂直走査周波数	
	DVI-1、DVI-2/RGB-2	VGA
640 × 480	60 Hz	~ 75 Hz
720 × 400	70 Hz	70 Hz
800 × 600	60 Hz	~ 75 Hz
1024 × 768	60 Hz	~ 75 Hz
1152 × 864	-	75 Hz
1280 × 720	60 Hz	60 Hz
1280 × 960	60 Hz	60 Hz
1280 × 1024	60 Hz	~ 75 Hz
1680 × 1050	60 Hz	60 Hz
1920 × 1080※1	60 Hz	60 Hz

※1 推奨解像度です。

● ビデオ入力（CVBS）の場合

信号フォーマット
NTSC
PAL
SECAM

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AdobeはAdobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。
macOSはApple Inc.の商標です。
Ethernetは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、CuratOR、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

舶用規格

この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。
装置カテゴリー：b）風雨からの防護形

船級型式承認

この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。
- NK（日本海事協会）
- DNV・GL（DNV・GL船級協会）
- ABS（アメリカ船級協会）
- LR（ロイド船級協会）

※船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。http://www.eizo.co.jp

注意点

• スタイラスおよびスタイラスホルダーは、舶用規格と船級型式承認の対象外です。

初版　2017 年 9 月

03V26924A2
(UM-MDF4601WT-2)

Copyright © 2017 EIZO Corporation. All rights reserved.